

## 下水道の大切さ、役わりについて

久保山 桜帆

小郡市立 東野小学校

私は、六月に宝満川浄化センターへ行きました。宝満川浄化センターは、みんなが使ったあとの水をきれいにしている所です。もしも、下水道がなければ、どうなるのでしょうか。それはみんなが使ったあとの水を何度も使わなければなりません。それだとあまりいい気持ちではないですよ。だから、宝満川浄化センターは、大切な役わりがあるのだと思います。

下水道には、四つの役わりがあります。一つ目は、よごれた水をきれいにする役わりです。二つ目は、よごれた水たまりをなくし、せいけつで住みやすい町にする役わりです。三つ目は、自然を守る役わりです。四つ目は、しん水をふせぐ役わりです。きれいにした水は川に流れていきます。さて、どうやって川まで行くのでしょうか。まずさい初に、公共おすいませすを通ります。次に、ポンプ場で、流れが深くなつたお水をくみあげます。その次に、ちんさ池で、お水中の大きなごみやどしやをしずめてとりのぞきます。それから、さい初ちんさ池で、お水をゆるやかに流して、小さなゴミやどろをしずめます。そして、反応タンクで、お水にび生物の入った活性おでいをまぜ、空気をふきこんでよごれがしずみやすくくなります。さい終ちんでん池では、反応タンクで大きなかたまりになつたどろをしずめ、上みずを流します。それが終わると、水質検査です。それは、しよりした水が川や海に流せるのかどうなのかをかくにんします。全てが終わると放流口に

流します。たぐさんのかていがあつて、やつと初めて川や海に流すことができます。

この学習をして、私がおどろいたことがあります。それは、たった一ぱいの牛にゆうを流すと、おふる五はい分の水がないと、もとにもどらないということです。たつた一ぱいのみそしるでは、おふる十ばい分の水が必要なことです。私は、初めて知ったときに、すぐおどろきました。

私は、この学習をして、みんなに気をつけてほしいことがあります。それはトイレに油とティッシュを直せつ流さないでほしいことです。もしも流すとトイレにつまり、宝満川浄化センターだけでなく、全ての浄化センターにめいわくがかかってしまうのです。みなさんも気をつけてください。私は、みそしるが苦手ですが、そのことを知つて、さい近は、自分が食べられる量に調整する、つがれた分はしつかり全て食べるということを心がけています。だから、みなさんも協力してください。よろしくおねがいします。

このように、宝満川浄化センターには、水をきれいにするという大切な役わりがあります。